事例No.	2609
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	千葉之家花駒座

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・観光 ・地域運営組織

事例種類	地域資源の活用

事例内容・タイトル

千葉之家花駒座

出典

平成28年度ふるさとづくり大賞事例集

千葉之家花駒座　　福島県檜枝岐村

概　　要

檜枝岐歌舞伎を上演する千葉之家花駒座は、役者から裏方まで全てが村民で構成されており、仕事の合間に練習を重ねて舞台に臨む。年4回の村内公演の他、被災地を始めとする村外公演も実施。また、後継者の発掘と育成を目的として、学校行事等にも歌舞伎を組み入れている。



評価された点

・農村歌舞伎の代表的な一座。今後訪日観光客の関心も高まる可能性がある。
・古くから地域に伝わる伝統文化を現在に残すとともに、将来に向けて伝承しようとする地域の取組は、高く評価される。
　また、親から子へ、子から孫へと伝統が受け継がれる中、檜枝岐歌舞伎は農民藝術としても後世に引き継ぐ価値がある。
・村民まるごと歌舞伎座として結束を固めていきながら、多世代間のコミュニケーションの場として、その活動は大きな役割を果たしている。後継者づくりにも配慮しながら、復興活動にも大きな期待を抱かせると思う。
・全て村民自前の伝統芸は貴重。実際に見てみたいと思う（そのクオリティーを確認したい）。



特定非営利活動法人自然塾寺子屋　　群馬県甘楽町

概　　要

地域住民と一体となってＪＩＣＡ海外研修員受入れ事業を平成13年～約400名、ＪＩＣＡ青年海外協力隊派遣前研修を平成15年～約700名に実施しており、現在も継続して事業活動している。また、近年では新規就農者・Ｉターン移住者のコーディネート、甘楽町創業支援塾（平成28年～）の開催等若者の活躍相談の場を設け、地域に根ざした活動を行っている。



評価された点

・青少年育成、環境保全、国際協力をうまくミックスした取り組み。移住者（就農者）の確保にもつながっており、これからの国際的な展開に期待。
・ＪＩＣＡの研修受け入れを核に、農業団体の活動が活性化し、新しい形のグリーンツーリズム創出に繋がっている。
・海外研修員や青年海外協力隊の受け入れを通じ、開発途上国と日本の農村をつなぎ、まさに世界への入り口となっている取り組みの功績は大きい。
　また、そのような活動の結果、新規就農者も出てきているなど、高齢者の多い地域農業の活性化に大きく貢献している。
・ＪＩＣＡ海外研修は人材育成に貢献しており、さらなる発展を期待している。
・地域住民と連携して実施するＪＩＣＡ海外研修は地域の人材育成に貢献しており、さらなる発展を期待している。
・町との連携により地域住民が一体となった取り組みが成果を上げており、地域に根ざした活動が展開できている。外からの受け入れが良いつながりになってきたと思う。

